

秋田県男女共同参画情報誌

LaVita

ラ ヴィータ:イタリア語で“生命・人生・生活”



vol.89

2015年7月31日発行



[特集1] **ひとが輝く、元気なまちへ**
～始動!あきた女性の活躍推進会議～

[特集2] **家族で!チャレンジ**
阿部 雄太さん・真由美さん(茅ぶき山荘「格山」代表・羽後町)

- ◎ **ラ ヴィータな人々**
「パパ×絵本」でコミュニケーション/パパコラボ
- ◎ **男女イキイキ職場訪問**
株式会社和賀組(湯沢市)
- ◎ **市町村情報**(秋田市)
- ◎ **INFORMATION**



【特集①】

ひとが輝く、元気なまちへ

は家庭」という考えに対する賛否は、
「賛成が」反対を上回っていました
が、平成19年の調査では、「反対」が「賛
成」を上回り、平成24年の調査では、
「反対」が59.0%と過半数を超え、県民の
意識が大きく変わってきていることが
伺えます。【図1参照】

一方、総務省の「平成24年就業構造
基本調査」によると、秋田県の女性の
有業率は66.3%（全国14位）、25〜44歳
の育児をしている女性の有業率は68.0%
（同7位）ですが、管理的職業従事者に
占める割合は8.6%（同44位）と低迷し
ており、女性が意欲と能力に応じて十
分に活躍しているとは言い難い状況に
あります。



地域が一体となり、女性の活躍を推進していきます

「あきた女性の活躍推進会議」とは

経済団体等と行政（国・県・市町村）
とが一体となって、広く女性の活躍推
進の機運を醸成し、女性が活躍できる
環境づくりを促進していくものです。

【図2参照】
「あきた女性の活躍推進会議」以
下、推進会議の取組の柱となるのは、
①女性の活躍推進に向けた社会的機
運の醸成、②女性が活躍できる職場づ
くりの促進、③ライフステージに対応
した女性のキャリア形成等に係る支
援です。

第1回目の推進会議では、女性の活
躍推進に向けた行動指針を決定した
ほか、女性が輝く元気な秋田を目指
し、率先して取り組んでいくことが宣
言されました。



女性が輝く元気な秋田を目指し、キックオフ宣言を行いました



特集①

ひとが輝く、
元気なまちへ
〜始動！あきた女性の活躍推進会議〜

可能性を拓く、女性の力

皆さんもご存知のとおり、秋田県
は、人口減少や少子高齢化が全国で
最も速いスピードで進んでいます。
こうした状況において、地域の活力
を維持し向上させていくためには、
どんなことが必要なのでしょう。
その一つの鍵となるのが、女性の活
躍推進です。

平成27年5月21日、女性が個性と

煌めく女性、元気な秋田を

この日は、推進会議の設立を記念
して、「女性の活躍で元気な企業・地
域を目指そう」をテーマに、トーク
セッションも開催しました。

パネリストとして登壇したのは、
輝く女性のネットワークづくりを行
う、「ヴィーナスクラブ」代表の竹下
香織氏、（株）北都銀行で女性活躍推
進室長を務める佐藤千穂子氏、「田沢湖
湖畔の杜ビール」の醸造責任者で（株）
トースト常務取締役の関口久美子
氏、潟上市で果樹園と農家民宿を経
営する「ファーム・イン果夢園」代表の
館岡美果子氏、そして秋田県信用保
証協会が女性の創業支援を行う
「チームポラリス」リーダーの平野内
恵美氏の5名です。皆様の現在に至
るまでの貴重な体験談に、参加者は
熱心に耳を傾けていました。

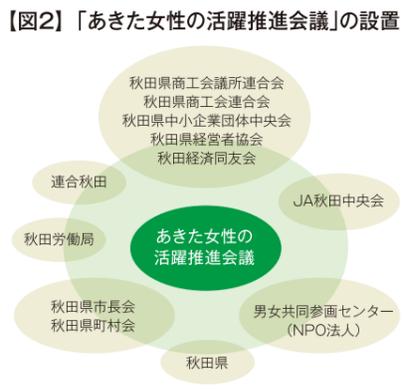
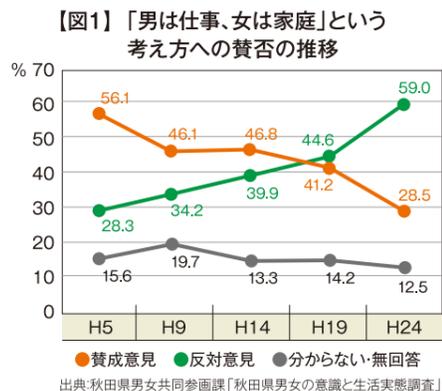


県内には、様々な分野で活躍し、輝いている
女性がたくさんいます。こうした輝く女性をさら
に増やしていくことが、元気な地域につながっ
ていきます。秋田県では、女性の活躍を推進す
るための取組が本格的にスタートしました。

能力を活かし、様々な分野で持てる
力を十分に発揮できる環境づくりを
促進させるために、官民一体となっ
て「あきた女性の活躍推進会議」を設
立しました。

男は仕事？女は家庭？
数字で見ると…

県が行っている「秋田県男女の意識
と生活実態調査」では、「男は仕事、女



第1回 輝く女性を
応援する
秋サミット
会場：秋田ビューホテル
2015年 8月8日（全体会）
【基調講演】
「女性の活躍が地方を元気にする」
有村治子 女性活躍担当大臣
【パネルディスカッション】
◎コーディネーター 麓 幸子氏
（日経BPヒット総合研究所所長・執行役員）
◎パネリスト
平成26年度 内閣府「女性が輝く先進企業表彰」
受賞企業代表の方
（有）セムケンサービス、（株）北都銀行
（株）資生堂、カルビー（株）、日産自動車（株）
（株）セブン&アイ・ホールディングス
（株）LIXILグループ
2015年 8月9日（講演会・講座）
【講演会】「女性が輝き活躍するには」
「女性が活躍することによる企業メリット」
【講座】「女性が起業するには」
●主催／秋田県・あきた女性の活躍推進会議・
輝く女性を応援する実行委員会
サミットについて詳しくはホームページをご覧ください

インタビュー

女性が輝く 職場の つくりかた

（株）北都銀行 人事部
女性活躍推進室 室長
佐藤 千穂子さん



「あきた女性の活躍推進会議 設立記念トークセッションのパネリストとして登壇した佐藤千穂子さん。佐藤さんが勤務する（株）北都銀行は、今年1月に平成26年度内閣府「女性が輝く先進企業表彰」で内閣総理大臣賞を受賞しました。女性のしなやかな感性・視点を経営に反映させる企業つくりについてお話を伺いました。

女性の活躍を経営戦略に

当行の女性活躍推進は、企業の競争力を高めるためにとった経営戦略のひとつです。その中で、平成24年7月、経営トップ自らが「平成30年3月末までに、女性管理職比率を30%まで引き上げる」という「PLAN30」を経営の覚悟として表明しました。これに応じて、女性による女性のための推進チーム「RISE」が発足。女性のキャリア形成を後押ししています。発足当初は女性の意識を高めることに注力し、現在は業務面の不安をバックアップし、意欲向上につなげるための活動を継続しています。

また、学びの場として「HOKUTO Women's College」を開校しております。女性行員向けの企業内大学です。挑戦意欲の向上と新たな強みをつくることを目指し、役職や年代に関わらず、この時だけは「女子大生」として、幅広い層が集い学びを深めています。

昨年夏には人事部門に「女性活躍推進室」が新設されました。女性の能力を最大限に発揮できる企業風土と環境づくりをこれまで以上に強化しています。

「女性が輝く先進企業表彰」の受賞は、職場全体のモチベーションアップにつながり、今までの方向性は間違っていないかったことを再確認できました。女性の活用は、収益にも結びついています。



管理職が対象の「イクボスセミナー」の様子

「女性の力が必要なんだよ」と、適材適所で女性を積極的に登用し、活躍できる場を企業がつくってくれたことにとても感謝しています。

人を育てる、イクボスセミナー

今年から始まった新しい取組のひとつが「全管理職イクボス化」です。「女性活躍機会拡大の鍵は？」というアンケートの問いに、男性からは「女性の意欲向上」、女性からは「上司の理解と協力、男性の意識改革」という回答が多くありました。男女の認識の差は大きいですね。

この結果を受け、女性の成長を後押しするためには、上司の働き方も見直し、マネジメントを進化させることが大切だと考えました。部下を一括りにせず、一対一で向き合い相手をよく知る、上司自らも仕事と私生活を楽しむ、そして管理職としての業績を上げる。

家族で！チャレンジ

子育て世代に田舎暮らし体験を

阿部 雄太さん・真由美さん
（茅ぶき山荘「格山」代表 羽後町）



居間には囲炉裏が。ゆったりとした時間の流れを体感できる。



「田舎は子育て環境がいい」と阿部さん夫妻

福島県出身の真由美さんが、雄太さんと共に羽後町に移り住んだのは3年前の夏。大学時代に知り合い、いずれは雄太さんの郷里で暮らすつもりにはしていたものの、卒業後は2人とも東京の会社に就職。25歳で結婚し、26歳で長女を出産。2人目が産まれた時、「東京での子育ては大変」と郷里に帰って来ました。

茅葺き民家保存と農業体験受け入れ

雄太さんの自宅も茅葺き。「羽後町には多くの茅葺き住宅があり、その保存活動をしている父に、茅葺き民家を譲りたいという人がいたことがきっかけでした」と雄太さん。「幸い、地元には農家十数軒で仙台市の中学生の農業体験を受け入れている田代村体験協議会の活動もあり、連携して『格山』を観光資源にしようということも、地域の人たちと話し合ったんです」

茅葺き替え費用に充てるため、民宿を2年前にオープン。これまでの宿泊者は遠く宮崎県や韓国、スコットランドからも。国際教養大の留学生たちも、そば打ちや山菜採り、餅つき体験を楽しみました。

真由美さんは「田舎暮らしに憧れて連泊していく子育て世代もいます。そんなお客さんには私たちが家族で接して仲良くなります。日常と違う空間で田舎の温かさを感じてもらえるのが喜び」と話します。

家族も地域も居心地がいい

夫婦と小1、3歳、1歳の3人の子ども、両親、叔父、祖母の9人家族。「叔父がそば打ち職人なので、そば会を4月から11月までの月1回と、隣の長谷

これらを目標に、全管理職を対象にイクボスセミナーを開催しています。人に認められるのは、誰でも嬉しいこと。これをきっかけに、職場内で、女性のみならず全職員にとっていいサイクルが生まれるのを期待しています。

秋田の女性の活躍にエールを

当行では、これまでの企業内における女性活躍推進に加え、この夏からは、秋田県内の女性に向けて「女性ビジネススクール」を開校します。経営のプロを目指す女性経営者や、次世代の経営者を展望する女性リーダーの方々を対象のプログラムです。地域で頑張っている女性たちを、様々なかたちで応援していきたいです。

Profile

佐藤千穂子さん

（株）北都銀行の広面支店長を経て、平成26年に人事部に新設された女性活躍推進室室長に就任。平成24年に同行で発足した、女性による女性のための推進チーム「RISE」メンバーのひとり。

Info

北都銀行本店
〒010-0001 秋田県秋田市中通3丁目1-41
Tel:018-833-4211
HP <http://www.hokutobank.co.jp/>



※イクボス
職場で共に働く部下・スタッフのワーク・ライフ・バランスを考え、その人のキャリアと人生を応援しながら組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司のこと。

山邸（羽後町総合交流促進施設）でのイベント時に開催しています。家族で書店と学習塾と農業を経営しながらなので、民宿での食事提供や本の配達、店番、塾講師など人員配置と調整に苦しんでいます」とのこと。

「いずれは民宿業と農業、漬物などの加工業で生活していけるよう軌道に乗せたい」という雄太さんと、「郷土料理を教わったり、いろいろ助けてもらったり地域の協力は必須。この地域の居心地のよさを、多くの人に感じてもらいたいです」という真由美さん。家族で地域ぐるみで、農村の魅力を発信し続けています。



看板も地元「てぼっけ工房」の寄贈

Info

茅ぶき山荘「格山」

一棟貸しでの民宿、日帰り利用。食事提供や自炊方式、餅つきそば打ちなどのオプションあり。

【8月9日、9月12、13日 そば会】

羽後町田代字第61
Tel:0183-62-5009(書店ミケーネ)
HP <http://kakuzan.ugotown.com>



叔父・専助さんの厨房

「パパ×絵本」で「ミニセッション」



秋田パパ絵本チーム
パパコラボ



「パパコラボ」は、絵本を通して子どもや家族との時間を楽しもう、さらに絵本を持って出かけて行き、地域での交流を深めようと、「パパ×絵本」という強力な接点で結ばれた3人で活動しています。モットーは「にっこり、まったり、ほっこり」。

幼稚園や保育園、図書館、子育てイベントなどでの絵本ライブやワークショップの開催、男性の子育てや地域への参画を推進する活動や、子どもの読書活動の推進などにも取り組んでいます。

代表の高橋寛光さん(大仙市)には、忘れられない一言があるそうです。それは、ある園の先生から頂いた言葉。

「この子どもたちは、男性が読み聞かせをする姿を知らずに成長するところでした。貴重な時間をありがとうございました。」

地域でのパパモデルの重要性に気づき、活動を通して新しく多様な生き方を発信していきたいとの思いを強くしました。



6月27日には、美郷町にある認定子ども園「六郷わくわく園」で絵本ライブを行いました。高橋さんが読む絵本に子どもたちは釘づけ。どんどんお話の世界に引き込まれていきます。高橋さんのギターの弾き語りも、美郷町で活動している読み聞かせボランティアグループとの共演や、子どもたちの飛び入り参加もあり、にぎやかで楽しい、わくわくする時間でした。

今後は、パパと子どもの関わりを楽しみむきかけをつくるラボ的な役割になりたいと語る高橋さん。最後にパパたちへのメッセージを伺いました。

「私の場合は、絵本が最幸のコミュニケーションツールになり、地域へのプレミアムパスポートにもなりました。イクメン像に縛られない自分らしい生き方、好き・得意を通して、アナザーワールドへ行ってみませんか?」

お問い合わせ▶パパコラボ 高橋寛光(みつ)さん TEL:090-7560-5426 E-mail:mittiful@gmail.com

市町村情報「秋田市」

Q 来秋、秋田市で開催される「日本女性会議」はどのような会議でしょうか。

A 「日本女性会議」は男女共同参画に関する国内最大の会議として、女性を取り巻く課題の解決策を探るとともに、参加者相互の交流促進やネットワーク化を図ることを目的に30年以上にわたり全国各地で開催されています。記念講演や分科会、エクスクーリション(体験型見学会)などが行われる予定です。

Q 日本女性会議を来年に控え、今年は県内各地でイベントが開催されるようですが、日程や内容を教えてください。

A 県内3カ所の男女共同参画センターによる意識啓発イベントが行われ、それぞれテーマに沿った講演やワークショップが開催されます。

◎8月1日(土) よこてシャイニーハレス「女性の活躍推進 フォーラム」
◎9月12日(土) 北秋の社公園パークセンター 研修室 「再就職、起業支援」
◎9月12日(土) アトリオン地下1階多目的広場 「職場における女性の活躍環境づくり」

また、秋田市では、10月31日(土)、11月1日(日)に秋田拠点センターアルウェで、第25回秋田市男女共生フォーラムを、日本女性会議のプレイベントとして開催します。初日は男女共生推進都市宣言記念式典のほか県内3カ所の男女共同参画センターによる講演やワークショップなどの分科会を行い、2日目は男女共生をテーマにした講演会や市民団体による展示等を開催します。どちらも、大勢の参加をお待ちしております。

お問い合わせ▶秋田市 市民生活部 市民協働・地域分権推進課 TEL:018-866-2785 <http://www.city.akita.akita.jp/city/copr/daniyo/default.htm>

男女 イキイキ! 職場訪問

湯沢市にある「株式会社 和賀組」におじゃまします。

【イキイキ職場って?】
イキイキ職場(=「男女イキイキ職場宣言」事業所)とは、秋田県と協定を結び、女性の能力の活用や仕事と生活の調和に取り組む事業所です。平成27年6月末現在で、243事業所が宣言しています。県ではホームページやパンフレットでイキイキ職場の取組内容を紹介しています。

株式会社和賀組は、土木、建築、鉄道工事など5部門を柱に事業展開しています。明治10年(1877年)創業の長い歴史を持ち、県南部を中心に多くの事業を請け負っています。その第一線の建設現場でイキイキと働く女性たちにお話をうかがいました。

「土木系女子」が大活躍!

男性が大多数を占める建設現場の中に、きびきびと機械を操作する女性や、現場監督を務める女性の姿があります。彼女たちは最近注目を浴びている土木系女子、通称ドボジョ。現場が建設現場であるがゆえに、「和



現場で働く「ドボジョ」たち

賀組から出向している作業員は自分だけなので、心細い。「着替える場所や休憩時間など、自分が女性であるために周囲に気を遣わせたり、邪魔になっっているのではないかと思う」といった女性ならではの悩みも。

そんな先輩を元気づけるのは、地盤事業部部長の千葉愛さん。管理職であることについて「以前は『女だから』と思われるのが嫌で、一人で何でもできるふりをしてきたように思います。でも、役職をいただいたことによって、頼ってもらえる存在になろうという意識が生まれ、相談し合いながらそれぞれが自分の役割を果たすことで、信頼関係を築けるようになってきた」と語ります。

同僚のひと言に救われて

総務課長の近藤真紀子さんは20年ほど前、子どもの病気や行事で会社を休むことがあり、迷惑をかけていると思いつめた時期がありました。そんな時、同僚男性の「辞めるなよ」の言葉に支えられたと話します。「誰にも相談していなかったのに、自分を見守り、察してくれた人がいたことに驚きました。和賀組に入ってよかった、ここで

頑張ってみようと思えました」。現在のように制度が整う以前から、社員を大切にしていた企業であることがうかがえます。

和賀組では、社員のスキルアップのための講習や、管理職になるための資格取得も積極的に進めており、試験前の講習受講(OFF-JT)や部門を越えて技術を教え合い、勉強する機会(OJT)などを設けています。現在も資格検定を受検中の社員がいるそうです。

現場で育てる

「年齢性別を問わず実力のある人は、管理職に登用したり責任のある仕事を任せたりしています。社内ではフォローアップできる体制も整っていますし、社員同士はもちろん現場で一緒に働く協力業者さんたちにも育ててもらって成長し、いい仕事をしてもらいたい」と語るのは、社長の和賀幸雄さん。社員の懇親会ではバンド演奏をするなど、仕事も趣味も充実。そんな社長を中心に、社内にはお互いに意見を言い合える明るい雰囲気があります。



和賀社長を囲んで。
「私たちが会社を盛り立てます!」



まいちゃんの素朴な疑問



家庭だけではなく、職場での女性の活躍が秋田県でもっと広がるといいですね。働く女性が輝く秋田を目指していきましょう。

平成27年度「男女共同参画社会づくり表彰」受賞者が決定しました。

ハーモニー賞

宝川みさこ餅会 代表
木山 美佐子さん(秋田市)



農業において、女性の役割は補助的なものという意識が強かった頃から、自ら農業機械を運転するなど主体的に従事。さらに農産物の加工、販売先の開拓と活動内容を広げ、新たな女性の活躍の場や地域の雇用を生み出してきました。

こうした長年にわたる活動は、農業分野はもとより経済分野においても、男女共同参画の推進に貢献されています。

チャレンジ賞

株式会社あきた森の宅配便 代表取締役
栗山 奈津子さん(小坂町)



地域の資源である山菜と高齢者を結び付け、山菜採り代行サービスとして、インターネットを活用し、首都圏等へ販売しています。また、自らも「山菜ガール」と名乗り、秋田の山菜文化やライフスタイルを発信しています。

こうした取組は、地域における女性のチャレンジの新たな形として、注目されています。

ハーモニーフェスタ2015を開催しました。

6月28日(日)鹿角市文化の社交流館「コモッセ」を会場に、「ハーモニーフェスタ2015」を開催しました。フェスタでは、特別講演や笑いヨガ、男女共同参画対話劇、イキイキ職場宣言事業所活動発表などを行いました。特別講演にはダースコちんどん隊のカチューシャ安田さんをお迎えし、「夫婦でちんどん、二人三脚!〜好きこそ生涯現役〜」と題してお話していただきました。ちんどん隊のみなさんの講話や演奏に、会場は大いに盛り上がりました。



編集後記

羽後町「格山」が会員でもある田代村体験協議会。小坂圭助会長の呼び掛けに20人の女性が応じ、民泊の受け入れをしています。女性の輝きに、背中を押してくれる男性は不可欠です。

(佐藤 万里子)

今回の表紙は、特集のインタビューに登場した北都銀行の皆さんにお願いしました。「小さな取り組みをこつこつと重ねてきた」という輝く女性の職場の話題、まだまだお伝えしたいことがいっぱいです。

(伊藤 美生)

LaVita 編集部

『La Vita』を読んでのご意見・感想をお寄せください。お待ちしております。

TEL 018-860-1555 FAX 018-860-3895

Mail persons@pref.akita.lg.jp

秋田県生活環境部男女共同参画課
〒010-8570 秋田市山王四丁目1番1号

